

喘息でお悩みの患者様へ

連携する、つなげる、橋渡しをするという意味の「リエゾン (liaison)」という言葉があります。調剤薬局、病院薬局、薬学部のリエゾン薬剤師を目指す薬剤師が集まり、薬物療法の知識や技術を適用し、患者さまやそのご家族に薬物治療に参加してもらうこと、医療者、そして薬剤師の間をつなぎ、連携を図ること、橋渡しをすることによって、チーム医療を実現すること、そして「からだ」と「こころ」をつなぎ、全体的、統合された、質の高い薬物治療を提供する支援を行なうことを目指して、「つるまい薬薬薬連携協議会」を発足いたしました。

今回、このリエゾン活動の取り組みの一つとして、つるまい薬薬薬連携協議会では、「吸入治療連絡せん」を作成いたしました。この用紙は、診察の待ち時間、薬局でお薬を受け取る待ち時間などを利用してご記入下さい。ご記入いただいたアンケートは、医師もしくは薬剤師にお見せ下さい。ごく簡単な質問ですので、普段のご自分の生活の様子をお書き下さい。ぜんそく治療においては、患者さまの発作以外の状態を知ることも非常に重要です。このアンケートを拝見することで、医師や薬剤師は、ぜんそく症状の状況を、的確に把握することが出来ます。このアンケートは、来院のたびに、もしくは調剤薬局へお越しのたびに記入下さい。毎回書いて頂くことにより、治療の進行状況を経時的に観察することが出来、ぜんそくの治療管理において大変参考になります。必要な場合には、医療機関や薬局で複写し保存させて頂く場合もあります。その場合には、ご記入頂いた内容を、患者さまの治療以外の目的で使用することはありません。

疑問な点がありましたら、遠慮なく医師または薬剤師にお訪ね下さい。

気管支喘息の吸入治療にあたっては、患者さまにご自分の病気やくすりに対して正しく理解し、関心を持っていただくことが最も大切です。また、定期的に通院し、日頃の状態を先生方にきちんと伝えて頂けるようにしなければなりません。もし先生から調剤薬局で、吸入薬の服薬指導のご指示がありましたら、この「吸入治療連絡せん」を、薬局の薬剤師にお見せ下さい。また、調剤薬局で服薬指導を受けましたら、指導内容を記入いたしますので、次回診察時に先生にお見せ下さい。

このような活動が、少しでも喘息でお悩みの患者さまの治療の手助けとなり、より良い薬物治療に結びつけられれば幸いです。疑問な点等がございましたら、「つるまい薬薬薬連携協議会」事務局までお問い合わせ下さい。

連絡先：名古屋大学医学部附属病院薬剤部薬品情報室

TEL:052-744-2680, FAX:052-744-2685.